平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場会社名　株式会社スズケン　　上場取引所　東 名 札
コード番号　9987　URL　http://www.suzuken.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 太田　裕史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 鷲見　守　TEL 052-961-2331

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,429,550	1.7	5,253	44.5	17,676	13.3	6,752	△17.5
24年3月期第3四半期	1,406,061	6.9	3,635	△37.7	15,595	△7.7	8,188	△10.0

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　8,722百万円　(6.7%)　24年3月期第3四半期　8,177百万円　(△31.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	74.91	―
24年3月期第3四半期	90.83	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,020,543	293,912	28.8
24年3月期	972,076	289,759	29.8

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　293,638百万円　24年3月期　289,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	25.00	―	25.00	50.00
25年3月期	―	25.00	―		
25年3月期(予想)				25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,914,000	2.9	13,410	77.5	29,210	26.3	14,000	73.9	155.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料5ページ「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	93,949,167 株	24年3月期	93,949,167 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,804,492 株	24年3月期	3,803,650 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	90,145,059 株	24年3月期3Q	90,150,090 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
３．四半期連結財務諸表 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 ……8
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 ……9
（３）継続企業の前提に関する注記 ……10
（４）セグメント情報等 ……10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として緩やかに回復しつつあり、12月には新政権への期待感から為替相場は円安傾向となったものの、原油価格の高騰や電力供給不足の懸念など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

医療用医薬品市場は、平成24年４月に実施された薬価基準の引下げ（長期収載品の追加引下げを含む平均6.25%）の影響があるものの、高齢化の進展に伴う生活習慣病関連薬剤や新薬等の寄与により、緩やかながら伸長したものと推測しております。しかしながら、お得意さまニーズの多様化・高度化への対応など、医薬品卸を取り巻く経営環境は厳しい状況にあります。

このような状況下、当社グループはあらゆる構造改革を推進しております。喫緊の課題は「コスト構造改革」であると考え、当社及び当社子会社２社（㈱スズケンロジコム、秋山物流サービス㈱）において、平成24年９月30日を退職日とする希望退職者の募集を行いました。694名の応募に伴う特別一時金等の発生により、特別損失として49億84百万円を計上いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は１兆4,295億50百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は52億53百万円（前年同期比44.5%増）、経常利益は176億76百万円（前年同期比13.3%増）、四半期純利益は67億52百万円（前年同期比17.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位:百万円未満切捨て）

セグメントの名称		平成24年３月期 第３四半期累計期間	平成25年３月期 第３四半期累計期間	増減率（%）
医薬品卸売事業	売　上　高	1,340,637	1,359,841	1.4
	営業損失(△)	△4,874	△87	―
医薬品製造事業	売　上　高	50,699	51,646	1.9
	営 業 利 益	4,458	2,817	△36.8
保険薬局事業	売　上　高	56,613	58,024	2.5
	営 業 利 益	3,196	2,312	△27.6
医療関連サービス等事業	売　上　高	17,001	18,928	11.3
	営 業 利 益	767	421	△45.1

（注）セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(医薬品卸売事業)

「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会」による「緊急提言」を受け、引続き業界をあげて流通改善に取組んでおります。日本医薬品卸業連合会は、流通改善を実現するために、契約条件の事前明示と覚書締結による確認、単品単価取引の励行の推進等を声明として発表しております。

当社グループにおきましても、日本医薬品卸業連合会の取組方針に基づき、個々のお得意さまごとに単品単価取引を原則とし、個々の医療用医薬品の価値に見合った価格交渉に努めております。また、多様化・高度化するお得意さまニーズに対応するため、ＬＳ（Logistics Sales：主に保険薬局を専門に担当する営業担当者）を本格導入するなど構造改革を実践し、強い物流機能の確立とお得意さまに提供するサービスの最適化に取組んでおります。

売上高につきましては、市場が伸長したことに加え、個々のお得意さまのニーズにお応えする活動を徹底したこともあり、堅調に推移いたしました。利益につきましては、適正な利益の確保に向けた取組みを強化したことにより一定の改善はみられたものの、依然として厳しい状況となりました。

この結果、売上高は１兆3,598億41百万円（前年同期比1.4％増）、営業損失は87百万円（前年同期は48億74百万円の営業損失）となりました。なお、現時点における販売価格の未決定先につきましては、合理的見積価額としております。

(医薬品製造事業)

主力製品である糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」の売上高は、５億47百万円増の140億75百万円（前年同期比4.0％増）となりました。また、興和㈱と共同開発してきました２型糖尿病治療剤であるＤＰＰ－４阻害剤「スイニー錠100mg（一般名：アナグリプチン）」は、平成24年９月に製造販売承認を取得し、平成24年11月30日に販売を開始いたしました。販売費及び一般管理費は、「セイブル錠」の業務委託費や「スイニー錠100mg」の発売に伴う販売促進費の増加、高尿酸血症・痛風治療薬「ＦＹＸ－051（一般名：トピロキソスタット）」の製造販売承認申請に伴うライセンス料の支払等により増加いたしました。

この結果、売上高は516億46百万円（前年同期比1.9％増）、営業利益は28億17百万円（前年同期比36.8％減）となりました。

(保険薬局事業)

管理業務の集約化や在庫管理の強化を実施し業務の効率化に努めてまいりましたが、６年制教育課程導入のため３年ぶりとなる新卒薬剤師の採用も含めた薬剤師の確保により、販売費及び一般管理費は増加いたしました。

この結果、売上高は580億24百万円（前年同期比2.5％増）、営業利益は23億12百万円（前年同期比27.6％減）となりました。

(医療関連サービス等事業)

主に、中国地方で介護事業を営むサンキ・ウエルビィ㈱において、グループホームや小規模多機能センターで利用者が増加いたしました。また、さらなる地域密着サービスの強化に向けて、介護従事者の確保や新規開設に取組んでまいりました。

この結果、売上高は189億28百万円（前年同期比11.3％増）、営業利益は４億21百万円（前年同期比45.1％減）となりました。

（注）セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ484億66百万円増加し、１兆205億43百万円となりました。主な要因は、以下のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ502億10百万円増加いたしました。これは主に有価証券の取得等により現金及び預金が152億43百万円減少したものの、有価証券が375億５百万円、受取手形及び売掛金が157億80百万円並びに商品及び製品が120億61百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ17億43百万円減少いたしました。これは主に㈱サンキの岡山物流センターの建設（平成24年11月稼働）やＢＣＰ（事業継続計画）の再構築等により有形固定資産が４億75百万円、保有株式の株価上昇等により投資その他の資産が５億25百万円それぞれ増加したものの、ソフトウエアの減価償却等により無形固定資産が27億45百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ443億13百万円増加し、7,266億30百万円となりました。これは主に法人税等の支払により未払法人税等が33億92百万円、賞与の支払により賞与引当金が35億４百万円それぞれ減少したものの、直近の仕入高の増加等により支払手形及び買掛金が503億13百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ41億53百万円増加し、2,939億12百万円となりました。これは主に剰余金の配当により45億７百万円減少したものの、四半期純利益67億52百万円の計上及び保有株式の株価上昇によりその他有価証券評価差額金が23億34百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年９月14日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更等

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	119,389	104,146
受取手形及び売掛金	448,739	464,519
有価証券	5,791	43,296
商品及び製品	122,203	134,264
仕掛品	4,785	3,697
原材料及び貯蔵品	1,899	1,952
その他	37,655	38,458
貸倒引当金	△3,084	△2,744
流動資産合計	737,379	787,590
固定資産		
有形固定資産	106,713	107,189
無形固定資産		
のれん	955	594
その他	26,246	23,861
無形固定資産合計	27,201	24,455
投資その他の資産	100,782	101,308
固定資産合計	234,696	232,953
資産合計	972,076	1,020,543

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	635,153	685,466
短期借入金	587	537
未払法人税等	6,536	3,144
返品調整引当金	431	432
賞与引当金	7,746	4,241
その他	13,422	13,288
流動負債合計	663,878	707,110
固定負債		
長期借入金	462	375
退職給付引当金	4,401	4,231
役員退職慰労引当金	599	542
その他	12,974	14,369
固定負債合計	18,438	19,520
負債合計	682,317	726,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	38,897	38,897
利益剰余金	248,446	250,627
自己株式	△12,064	△12,066
株主資本合計	288,825	291,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,684	9,018
土地再評価差額金	△6,001	△6,001
為替換算調整勘定	△1	△383
その他の包括利益累計額合計	681	2,634
少数株主持分	252	274
純資産合計	289,759	293,912
負債純資産合計	972,076	1,020,543

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	1,406,061	1,429,550
売上原価	1,282,043	1,301,167
売上総利益	124,018	128,383
返品調整引当金戻入額	448	431
返品調整引当金繰入額	452	432
差引売上総利益	124,014	128,382
販売費及び一般管理費	120,379	123,128
営業利益	3,635	5,253
営業外収益		
受取利息	536	520
受取配当金	1,020	1,203
仕入割引	5,336	5,842
受入情報収入	3,615	3,723
その他	1,798	1,436
営業外収益合計	12,307	12,725
営業外費用		
支払利息	36	17
不動産賃貸費用	175	182
その他	136	102
営業外費用合計	348	303
経常利益	15,595	17,676
特別利益		
固定資産売却益	50	9
投資有価証券売却益	252	17
罹災商品補償額	682	－
補助金収入	32	13
その他	349	12
特別利益合計	1,368	53
特別損失		
固定資産除売却損	811	413
減損損失	137	24
災害損失	109	－
投資有価証券評価損	2,222	30
特別退職金	4	4,984
その他	98	17
特別損失合計	3,383	5,469
税金等調整前四半期純利益	13,579	12,260
法人税等	5,369	5,490
少数株主損益調整前四半期純利益	8,210	6,769
少数株主利益	21	16
四半期純利益	8,188	6,752

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	8,210	6,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△288	2,334
土地再評価差額金	259	－
為替換算調整勘定	△4	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	－	△381
その他の包括利益合計	△33	1,952
四半期包括利益	8,177	8,722
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,156	8,705
少数株主に係る四半期包括利益	20	16

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

前第３四半期連結累計期間(自平成23年４月１日　至平成23年12月31日)

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	医薬品卸売事業	医薬品製造事業	保険薬局事業	医療関連サービス等事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,320,117	16,087	56,612	13,244	1,406,061
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,519	34,612	1	3,756	58,889
計	1,340,637	50,699	56,613	17,001	1,464,951
セグメント利益又は損失(△)	△4,874	4,458	3,196	767	3,548

２.報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,548
セグメント間取引消去	86
四半期連結損益計算書の営業利益	3,635

３.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第３四半期連結累計期間(自平成24年４月１日　至平成24年12月31日)

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品卸売事業	医薬品製造事業	保険薬局事業	医療関連サービス等事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,337,573	19,478	58,022	14,475	1,429,550
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,268	32,167	2	4,452	58,891
計	1,359,841	51,646	58,024	18,928	1,488,441
セグメント利益又は損失(△)	△87	2,817	2,312	421	5,463

２.報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,463
セグメント間取引消去	△210
四半期連結損益計算書の営業利益	5,253

３.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。